

深谷市環境基本計画進行管理表 <平成30(2018)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	1	地球への負荷が少ない低炭素なまちづくり	作成日	令和元年9月13日
基本方針	1-1	地球温暖化の抑制と温暖化への適応	担当課	環境課
基本施策	1-1-1	CO2などの温室効果ガス排出量の削減	担当者	横瀬 智幸
	1-1-2	気候変動適応策に関する普及啓発		

2. 環境指標

環境指標名	市民1人1日あたりの温室効果ガス排出量
指標解説	埼玉県市町村温室効果ガス排出量推計報告書における、本市の年間温室効果ガス総排出量を人口で割り、1日あたりの平均で求めた値であり、環境問題への負荷を低減し、自然環境の保全が行われているかを測る指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	平成30 (2018)年度
		埼玉県地球温暖化対策実行計画における令和4(2022)年度目標値を基に、目標値を設定した。	kg-CO2/ 人・日	21.37
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	平成30 (2018)年度
	R元年度に公表された埼玉県市町村温室効果ガス排出量推計報告書市町村温室効果ガス総排出量／報告書の対象となる年度末の人口/年間日数(365日)	kg-CO2/ 人・日	23.51	21.14

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	A	目標達成に向けた取組内容 ・住宅用省エネ設備設置費補助事業により太陽光発電システム114件に補助金を交付 ・事業用向けの太陽光補助金について、市のホームページに掲載 ・住宅用に緑のカーテン用苗を配布し、緑のカーテンの設置推進 ・緑のカーテンコンテストを実施し、市民や事業者へ緑のカーテンの設置推進 ・市民を対象にダンボールコンポスト講習会を実施 ・エコ通勤の推進啓発
------	---	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	B	課題・具体的な改善策 引き続き、温室効果ガス排出量削減のため、太陽光発電システム、緑のカーテン、エコ通勤の推進を図っていくことが必要であるが、地球温暖化対策は市民や事業所を含め市全体で削減していくことが必要である。 当市では、地域一体となって環境に配慮した取組を進めるため、昨年度立ち上げたふかやeパワー(株)と連携し、効果的な取組について検討を進めていく。
--------	---	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <平成30(2018)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	1	地球への負荷が少ない低炭素なまちづくり	作成日	令和元年9月13日
基本方針	1-2	エネルギーの有効利用	担当課	環境課
基本施策	1-2-1	使用エネルギー削減への取組推進	担当者	横瀬 智幸
	1-2-2	再生可能エネルギー等のクリーンエネルギー導入推進		

2. 環境指標

環境指標名	太陽光発電システム導入容量
指標解説	固定価格買取制度開始後に認定を受けた、市内の事業者や市民等が設置した全ての太陽光発電システム導入容量であり、エネルギーの利活用を測る指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	平成30 (2018)年度
		国のエネルギーミックス2030年導入見込量を基に、目標値を設定した。	kW	77,821
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	平成30 (2018)年度
	資源エネルギー庁が公表している固定価格買取制度設備導入状況より ※実績値は、公表されている直近の年度末値(2018年3月末)を記載している。	kW	59,086	73,905

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	A	目標達成に向けた取組内容 <ul style="list-style-type: none"> ・4月広報に住宅用省エネ設備設置費補助制度を掲載 ・深谷商工会議所及びふかや市商工会の広報に同制度を掲載 ・市ホームページに同制度を掲載 ・住宅用省エネ設備設置費補助事業により太陽光発電システム114件に補助金を交付 ・事業者向けの太陽光補助金について、市のホームページに掲載し、普及・啓発に努めた。
------	---	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策 <p>引き続き太陽光発電システムの普及促進を図っていくことが必要であるが、国は固定価格買取制度の抜本的な見直しの検討も始めており、固定価格買取制度に頼らない導入推進を図っていく必要がある。</p> <p>当市では、蓄電池を含めた住宅用省エネ設備設置費補助制度を設けていることから、蓄電池を活用した分散型エネルギーの推進を図っていく。</p>
--------	---	--

深谷市環境基本計画進行管理表 <平成30(2018)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	2	資源を有効に生かす無駄の少ないまちづくり	作成日	令和元年9月12日
基本方針	2-1	資源の有効活用と廃棄物処分量の削減	担当課	環境衛生課
基本施策	2-1-1	3R 活動などによる資源再利用の推進	担当者	清水 正史
	2-1-2	分別の促進による処分量の削減		

2. 環境指標

環境指標名	市民1人1日あたりの家庭系ごみの排出量
指標解説	資源物及び使用済小型家電を除く家庭系ごみの市民1人1日あたりの平均排出量であり、ごみの発生が抑制され、再利用が促進されているかを測る指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	平成30 (2028)年度
		深谷市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画における令和8(2026)年度削減目標値を更に削減することを目指し、目標値を設定した。	g/人・日	657
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	平成30 (2018)年度
	市民1人1日あたりのごみの排出量は、深谷市全体の家庭から出るごみの総量より、資源物及び使用済家電のごみの量を除き家庭系ごみを人口と年日数で除したものである。	g/人・日	681	708

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	B	目標達成にむけた取組内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌にて雑紙リサイクルやごみ減量化の啓発を行った。 ・ 福祉健康まつりにて雑紙用袋を配布し雑紙リサイクルの啓発を行った。
------	---	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	B	課題・具体的な改善策 <p>持続可能な資源循環型社会の構築には、ごみの減量化やリサイクルを心がけている市民を増やし、ごみ排出量の削減を図ることが大切である。市民のごみ減量への取組みやリサイクルへの取組は浸透しているが、更なる「ごみの減量」と「リサイクルを推進する意識の向上」のため、市民への情報発信を引き続き行うこととする。また、福祉健康まつり及び産業祭にて、ごみの減量化・雑紙のリサイクル啓発チラシを配布する。</p>
--------	---	--

深谷市環境基本計画進行管理表 <平成30(2018)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	2	資源を有効に生かす無駄の少ないまちづくり	作成日	令和元年9月12日
基本方針	2-2	適切な廃棄物処理の実施	担当課	環境衛生課
基本施策	2-2-1	廃棄物処理施設の整備	担当者	金井 辰裕
	2-2-2	不法投棄などによる未処理廃棄物量の削減		

2. 環境指標

環境指標名	不法投棄の苦情受付件数
指標解説	市民等からの不法投棄の苦情通報を受付した件数を示す指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	平成30 (2018)年度
		過去5年間における不法投棄の苦情通報の最も少なかった件数を下まわ ることを目指し、目標値を設定した。	件	16
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	平成30 (2018)年度
	不法投棄相談受付台帳により算出	件	26	35

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	C	目標達成に向けた取組内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロ運動の実施(春と秋の年2回) ・不法投棄禁止等を周知する啓発看板の配布(ごみのポイ捨て禁止看板:50枚配布、不法投棄禁止看板:37枚配布) ・深谷市くらしの環境美化条例の運用(空地・空家の雑草等適正管理の指導通知発送件数:95件、除草等により是正された件数:62件) ・市のホームページにて不法投棄を防止するための啓発記事を掲載
------	---	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策 <p>不法投棄は、市で収集・処理が困難な家電製品や建築廃材などの不法投棄が増加している状況である。不法投棄の行為者が特定できる場合や産業廃棄物の不法投棄など悪質なものについては、警察や県などの関係機関と連携して対応を行なっているが、最終的には行為者の特定に至らないため、市で回収をせざるを得ない状況である。現在、市が対応可能な不法投棄物については、すべて回収できているが、今後は、広報紙などを活用し、土地の管理の徹底や市民の不法投棄の監視意識の向上を図るとともに、市民のマナーやモラルの向上に向けた取組を継続して実施することにより、不法投棄の未然防止を図る必要がある。</p>
--------	---	--

深谷市環境基本計画進行管理表 <平成30(2018)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	3	自然が守られるまちづくり	作成日	令和元年 9月 6日
基本方針	3-1	自然やみどりの環境の保全	担当課	公園緑地課
基本施策	3-1-1	自然緑地の適正管理、公園等の緑地の保全	担当者	林 寿和
	3-1-2	水辺の環境保全の推進		

2. 環境指標

環境指標名	市内の公園面積
指標解説	身近にある自然と親しめ、憩いの場である市内全体の公園面積を示す指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	平成30 (2018)年度
	深谷市緑の基本計画における令和11(2029)年度整備目標値を基に、目標値を設定した。	ha	156.53	151.81
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	平成30 (2018)年度
	平成28年度末の市内公園面積を基に、平成30年度末までに新規に整備した公園(帰属含む)の面積の合計を記載している。	ha	147.62	147.65

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	B	目標達成に向けた取り組み内容 ・関係各課と連携をとりながら事業を進めている。 ・深谷市開発行為等指導要綱及び深谷市開発行為等指導要綱施行基準に基づき、公園及び公園施設の設置の指導を行っている。
------	---	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策 深谷市緑の基本計画に基づき、関係各課と連携をとりながら事業を進めていく。
--------	---	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <平成30(2018)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	3	自然が守られるまちづくり
基本方針	3-2	生き物の多様性の保全
基本施策	3-2-1	地域の生態系の保全
	3-2-2	特定外来生物対策

作成日	令和元年9月5日
担当課	農業振興課
担当者	荻野 光雄

2. 環境指標

環境指標名	アライグマによる農作物被害面積
指標解説	アライグマの捕獲により農地への被害面積の増加を抑え、在来生物を保護し、優良な農地の保全を図る指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
			令和9 (2027)年度	平成30 (2018)年度
目標値	年度目標の説明	単位		
	アライグマの捕獲頭数は増加しているが、農業被害面積の拡大を防ぐことを目指し、目標値を設定した。	a	101	101
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	平成30 (2018)年度
	アライグマ一頭当たりの被害面積×捕獲頭数 (一頭当たりの被害面積は過去の被害実績に基づいて算出)	a	101	128

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	C	目標達成に向けた取組内容	深谷市鳥獣害対策協議会において、野生動物侵入防止用電気柵の貸出しを行った。アライグマ捕獲用箱ワナの貸出しを行い、市内で319頭のアライグマが捕獲された。
------	---	--------------	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	B	課題・具体的な改善策	深谷市鳥獣害対策協議会へ、有害鳥獣から農産物の被害を防止するために実施する対策に係る経費に対し補助をい、その補助金をもって、侵入防止用の電気柵の購入経費への補助及びイノシシ捕獲における業務委託を実施する。
--------	---	------------	--

深谷市環境基本計画進行管理表 <平成30(2018)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	4	健康で安全に暮らせるまちづくり
基本方針	4-1	安全な生活環境の保全
基本施策	4-1-1	湧水・地下水・土壌などの環境の保全
	4-1-2	健康を脅かす有害物質等の監視

作成日	令和1年9月4日
担当課	環境課
担当者	佐藤 秀和

2. 環境指標

環境指標名	河川水質環境基準(BOD)達成率
指標解説	市内河川水質調査において、河川水質基準を達成した箇所の割合で、公害対策が推進されていることを測る指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	平成30 (2028)年度
		全ての測定地点で河川水質基準の達成を目指し、目標値を設定した。	%	100.0
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	平成30 (2018)年度
	環境基準達成地点数(1地点)÷環境基準適用地点数(4地点)	%	50.0	25.0

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	D	目標達成に向けた取組内容 ・市内の環境基準適用河川の4つの場所で2ヶ月に一度、BODを含めた水質測定を実施した。
------	---	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	B	課題・具体的な改善策 河川の水質については、水路工事や気象条件等による流入水量の変動から大きな影響を受けることも多いが、汚染原因となるものに関して、県と連携しながら解消に努めていく。 令和元年度からは、県が水質規制基準に従い、改善勧告、命令も視野に入れた指導を実施していくとのことで、市でも協力するとともに関連情報を収集し、公共用水域の水質改善を図る。
--------	---	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <平成30(2018)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	4	健康で安全に暮らせるまちづくり	作成日	令和1年9月4日
基本方針	4-2	心休まる環境の保全	担当課	環境課
基本施策	4-2-1	空気のきれいさ・静けさなどの生活環境の保全	担当者	佐藤 秀和
	4-2-2	景観、文化財などの保全		

2. 環境指標

環境指標名	公害苦情相談処理率
指標解説	公害苦情の相談に対し、解決に至った割合を示す指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	平成30 (2028)年度
	全案件について解決することを目指し、目標値を設定した。	%	100.0	100.0
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	平成30 (2018)年度
	解決した公害苦情件数÷公害苦情総数 (21÷23)	%	90.7	91.3

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	B	目標達成に向けた取組内容 ・騒音、振動、悪臭などに関する外部研修への参加 ・定期的なパトロール
------	---	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策 感情的にこじれてしまった案件は解決が困難だが、法令に基づき適切に対応していく。
--------	---	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <平成30(2018)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	5	協働で環境を守るまちづくり
基本方針	5-1	環境への関心の喚起と環境情報の提供
基本施策	5-1-1	学校や市民への環境学習機会の確保
	5-1-2	環境情報ツールの普及促進

作成日	令和元年9月17日
担当課	学校教育課
担当者	中川 智行

2. 環境指標

環境指標名	市内小・中学校におけるエコライフDAYの参加実施率
指標解説	埼玉県と県内の各市町村、学校、事業所等が協力・連携して実施するエコライフDAYへの市内小・中学校における参加率であり、簡単なチェックシートを利用し、省エネ・省資源など環境に配慮した生活を1日実践することにより、地球温暖化防止のためのライフスタイルを見直すきっかけづくりを示す指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	平成30 (2028)年度
	毎年度、市内全小・中学校の参加を目指し、目標値を設定した。	%	100.0	100.0
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	平成30 (2018)年度
	市内小中学校の実施校数/市内小中学校数	%	100.0	96.6

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	B	目標達成に向けた取組内容 ・市内小・中学校にエコライフDAYの参加呼びかけ ・生徒へチェックシートを配布 ・チェックシートに基づいた地球温暖化対策の推進
------	---	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	B	課題・具体的な改善策 学校教育課では公立小中学校の参加を呼び掛けているが、公立小中学校は全校で実施できた。一部の学校では、全学年で実施していない学校もあるため、今後はより多くの生徒が実践できるよう努めていきたい。 環境課では、私立中学校の参加を呼び掛けているが、引き続き協力を呼び掛けていきたい。
--------	---	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <平成30(2018)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	5	協働で環境を守るまちづくり
基本方針	5-2	各主体間の連携強化と環境保全活動の実施
基本施策	5-2-1	人づくりやネットワーク構築の支援
	5-2-2	環境保全活動の開催、関連団体への支援

作成日	令和元年9月12日
担当課	環境衛生課
担当者	清水 正史

2. 環境指標

環境指標名	集団資源回収量
指標解説	深谷市リサイクル活動推進奨励金交付要綱に定める登録団体における集団資源回収量で有価物の資源化を測る指標です。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9年 (2027)年度	平成30 (2018)年度
		深谷市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画における令和8(2026)年度目標値を踏まえ、目標値を設定した。	t	3,826
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	平成28 (2016)年度	平成30 (2018)年度
	深谷市リサイクル活動推進奨励金要綱に定める登録団体(273団体)のうち平成30年度活動団体(156団体)の1年間の集団資源回収量である。	t	3,638	3,226

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	B	目標達成に向けた取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみの分け方・出し方」に「雑紙」・「リサイクル」・「地域の集団回収」について掲載した。 ・広報誌にて雑紙リサイクルやごみ減量化の啓発を行った。 ・福祉健康まつりにて雑紙用袋を配布し雑紙リサイクルの啓発を行った。
------	---	----------------	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	B	課題・具体的な改善策	紙資源のリサイクルを徹底するため、「ごみの分け方・出し方」に「雑紙」・「リサイクル」・「地域の集団回収」について掲載する。このほか、市のイベントにて雑紙の資源化PRを行うことにより、資源の再資源化を進める。また、福祉健康まつり及び産業祭にて、ごみの減量化・雑紙のリサイクル啓発チラシを配布する。
--------	---	------------	---